

2016年
10月
No.216

さざなみ

〒520-2141
大津市大江6丁目23-24

さざなみネット
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)
TEL・FAX 077-545-5154

金融労連近畿地協第11回定期大会

労使が正常に交渉し 人間らしく文化的な生活を

10月22日、金融労連近畿地協第11回定期大会が、ホテル本能寺で開かれ、代議員・役員・オブザーバー・来賓39人(委任状1人含む)が、さざなみネットからは3人が参加しました。

大会は最初に、岡野議長が次の通りあいさつしました。

マイナス金利までになった異常な金融情勢で、職場は大変な状態である。憧れの職場に就職したが、長時間労働、成果主義、資格取得などで、過労死まで追いやった働かせ方は、母親として何としてもやめさせたい。労使が正常に交渉できることが求められている。ミニ学習会などを開き、人間らしく文化的な生活ができるように、がんばっていきたい。積極的な討論を期待する。

来賓のみなさんの情勢をふまえた激励のあいさつを受けた後、議案が阿部事務局長と伊藤事務局次長から提案され、単組・分会から6人が発言、さざなみネットからは山崎書記長が発言しました(発言要旨下記)。

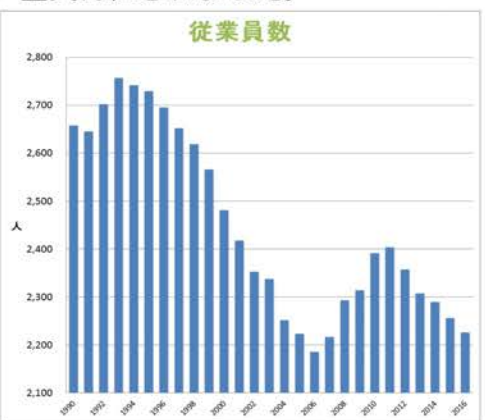


発言する山崎書記長

採決の結果全議案とも満場一致で採択されました。その後、新年度の役員選挙が行われ、全員再任されました。

店頭やホームページにある資料から銀行の長期的な経営分析をし、経営計画などを合わせ、職場の情勢を分析している。右のグラフは、正規従業員数の推移である。42のグラフと解説を大会議案書に掲載し、活用している。

従業員数は大幅に減少、当期純利益は



史上最高、前長期経営計画は目標達成にかかわらず今春闘は実質賃下げ、「払えるが払わない」とまで発言した。コンサルタントの意見としながらも「従業員が2~3割多い」とも言っている。金融レポートなど金融行政もあり非常に厳しいが、矛盾が激しくなっている。

職場の仲間に、職場の情勢や声をインターネットなどを使い伝えていきたい。

職場の仲間に、職場の情勢や声をインターネットなどを使い伝えていきたい。



指切りげんまん 岩波 美智子さん 画

感想

久しぶりに参加した。挨拶・提案・討論などが続き、感動した発言もあったが、眠気を我慢して過ぎた。信託銀行で嘱託として働く仲間の話を聞いた。正社員と嘱託がなぜ対立しなければならぬのか、正社員はどんな労働条件で働かされているのか。今の社会では、同じようなことが多いが、悲しいことです。

(植木)

ちぎんの会第4回総会

青森から大分までの42人が集まり 大いに歓談

10月18日から19日かけて、ちぎんの会第4回総会が熱海金城館で開かれ、青森から大分までの会員42人が集まりました。ちぎんの会しからは6人が参加しました。

18日は、総会・交流会が行われ、19日は鎌倉観光をし、横浜中華街で昼食をとり、新横浜駅で解散しました。

総会は、会長の挨拶、本部の活動報告、決算・予算、活動方針、年会費規約改正、役員選出、各ちぎんの会の活動報告がありました。

参加者からの感想を掲載します。



長谷寺本堂（観音堂）前
しがちぎんの会からの参加者

しく、鶴岡八幡宮はバスで眺めながらでしたが、鎌倉長谷寺は参拜でき、みなさん無事に終わりよかったです。



青森から大分までの集ったみなさん

感想

一昨年滋賀で開かれた第3回総会に家庭の事情で急遽参加できなくなり、残念な思いをしていましたので、今回参加させていただきました。皆さん頑張ってこられた方たちばかり、お顔を知らない状態でしたが、夜の懇親会でいろんな芸を見せてくださり大いに楽しみました。女性は6人の参加でしたが、いろいろ話ができ、またお会いしたいと思います。次回は東西に分かれての交流会となるようで、高齢化もあり仕方ないかもしれませんが。

鎌倉観光はシーズン中で駐車場の確保が難



横浜中華街の
聘珍樓横浜本店で昼食

2016ピースナインコンサート

「平和の暦2」-笠木透の心をうたう-

10月16日、栗東文化芸術会館さきらで、ピースナインコンサートが開かれ、さざなみネットから2人が参加しました。感想を掲載します。

感想

●笠木透さんが亡くなられて2回目のコンサートで、最初と最後にみんなで「平和の暦」等を唄いました。上手下手を別にして私はとても気持ちよく歌いました。

森みちさんの「ハノイの恋人」は、何度聴いても泣けてきます。2度目となる松本ヒロさんのコント、めっちゃめっちゃ面白かった。聴きながら一緒に歌うスタイルの雑花塾の人たちと一緒に歌う楽しいコンサートを来年もまた開催されることを願っています。（植木）

●ピースナインコンサートは、第3回目となります。第1回目は笠木透さんが杖について出演されていたように思います。その笠木さんのお心を受け継ぎ、「雑花塾」のみなさんの円熟した歌声は心に響きます。

今回森みちさんが出演されて、ベトナムへ最

近行かれたときに会われた80代の方は、ベトナム戦争当時3回も投獄され、ひどい弾圧を受けながらも歌うことをやめなかったそうです。歌う毎に酷い拷問を受けられたようで、胸をしめつけられました。

松本ヒロさんのコント、独特の個性発揮されており、永六輔さんとの生前の付き合いに学んだことなどを話され、大いに盛り上がりました。

このように歌の力、笑いの力で世の中を明るく生きていけたらと思います。元気をもらいました。（浦谷）



出演者全員で、「平和の暦」を
観客も交えて歌った